

第四十七回帝國議會
衆議院

帝都復興計畫法案外二件

帝都復興計畫法案
復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國
債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案
震災善後公債法案

委員會會議錄(速記第四回)

會議

大正十二年十二月二十日午前十一時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋 光威君 理事 小田切馨太郎君
理事 高木 正年君 理事 事佐間 耕逸君
小橋 一太君 土屋 興君
中島 守利君 八田 宗吉君
伊坂 秀五郎君 高山 長幸君
多木久米次郎君 有馬 秀雄君
添田 敬一郎君 武藤 金吉君
津野田 是重君 黒金 泰義君
古賀 三千人君 關 直彦君
湯淺 凡平君 上島 益三郎君

同月十七日委員磯貝浩君辭任ニ付其ノ補闕トシテ
古賀三千人君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

社會局長官兼 池田 宏君
帝都復興院理事 丹羽 七郎君
書記官 大藏書記官 太田 嘉太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

帝都復興計畫法案(政府提出)

復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國際
證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案(政府
提出)

震災善後公債法案(政府提出)

○高橋委員長 開會致シマス、此場合質問打切後

デアリマスケレドモ、萬已ムヲ得ザル御質問ハ簡
單ニ御許シ致スコトニシマス

○中島委員 第九條ノ補償審査會ノコトデ御同シ
タイノデアリマス、是ニハ審査機關ノ御規定ガ無
イヤウデアリマスガ、此點ハドウナッテ居リマスガ、
之ヲ見マスルト、大體土地收用審査會ノ特別規定ノ
ヤウナモノデアリマスガ、土地收用審査會ト比較
致シマスニ、府縣ノ代表者ガ非常ニ少ナク相成
テ居ルヤウニ考ヘマス、ソレニ付テ第三項ノ關係
府縣市參事會員ノ各府縣市ノ制當ノ數、ソレカラ
第一項ノ關係各廳高等官ト云フモノハ、是ハ關係
官廳ト稱スルモノハドウ云フ官廳デアアルカ、其點
ヲ御伺シタイト思ヒマス

○池田政府委員 補償審査ハ、此前ノ時ニモ中島
サンカラ御質問ガアリマシテ、私一應御答辯申上
ゲテ置キマシタガ、ソレニ依リマシテ中島サンカ
ラ、丁度只今ト同ジヤウニ、土地收用法ニ基ク收用
審査會ノ特別デアアルト云フヤウナ御話ガアッタノ
デアリマスガ、其時ニハ唯々御意見ト存ジマシタ
カラ其儘ニシテ置キマシタノデアリマスガ、是ハ收
用審査會ノ特別規定ト云フ譯デアリマセヌノデ、
此法案ニ依ッテ區劃整理ヲ施行スルニ付テ補償金
ヲ與ヘマス、其補償金ニ付テノ審査會デアリマス
カラ、其働キハ恰モ土地收用法ニ於ケル收用審査
會ノ如キモノデアリマスルガ、ソレニ對スル特別
デアアリマセヌカラ、是ダケハ第一ニ御承知ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、ソレカラ關係各廳ノ高等官トア

リマスノハ此仕事ヲ執行致シマスル上ニ於テ關係
ヲ持ッテ居ル主務ノ官廳、ソレト土地ノ關係デアリ
マスル稅務ノ事ニ付キマシテ、主管シテ居リマス
ル所ノ官廳ト云フモノヲ是ハ言フノデアリマス、
ソレカラ關係府縣市參事會員六人トアリマスガ、
是ハ東京ガ三人、横濱ガ三人ト云フ意味デアリマシ
テ、府縣ノ參事會員ハ一人、市參事會員ガ二人ト云
フ考デ居リマス、是ハ畢竟ズルニ今回ノ復興計畫
ト致シマシテハ、燒跡地ニ主トシテ施行スルノデ
アリマスカラ、概ネ此補償審査會ノ働キノアリマ
スモノハ、其市ノ中ノ事ガ大部分デアリマスガ故
ニ、此場合ニ於キマシテハ、右様ニ府縣參事會員ハ一
人ヅ、市參事會員ハ二人ト、斯様ニ考ヘテ居ル次第
デアリマス、ソレカラ收用審査會ニ對シマシテ審査
ノ期限ヲ付シテナイト云フ御話デアリマスガ、是
ハ如何ニモ御話ノ通りデアリマスガ、大體運用ガ
付クコトデアラウト考ヘテ居リマス、ト申シマス
ノハ、此補償金ノ配當ニ關スルヤウナ標準ノモノ
マデモ、土地所有者、或ハ借地權ノ代表者ヲ以テ組
織スル土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聽キマシテ、
ソレガ本トナッテ補償金ヲ決メルト云フコトニナ
ルノデスカラ、其方デ大體支障ナキ狀況ニナッテ居
リマスモノヲ、此處デ補償金ヲ決メルト云フコト
ニナリマス關係デ、補償審査會ノ決定ニ付キマシ
テハ、期限ヲ定メテ置キマセヌデモ、收用審査會ニ
於ケルガ如クニ遷延スルコトハナイカト考ヘテ居
リマス

○中島委員 只今政府委員カラノ御説明ニ依ッテ大體分リマシタ、サウ云フコトニ致シマス、關係府縣市參事會ハ「第三號」規定ニ依ル委員ハ關係府縣市ニ關セサル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ス」トアリマスカラ、六人ト致シマシテモ、補償審查會ノ議事ニ參與スル者ハ三人トナル譯デアリマス、サウ致シマス、土地收用審查會ノ特例デハナイト仰シヤイマス、ケレドモ、所謂土地收用審查會ト同ジヤウナ仕事ヲヤルモノト思ヒマス、又只今政府委員ノ御説明ニ依リマシテモ、關係府縣市ト云フモノニハ重大ナル關係ガアルト云フコトノ御説明ガアリマス、此數ガ大變少ナイノハ如何ト思ヒマスガ、政府ハ差支ナイト考ヘマスカ、ドウ云フ見地カラスウ云フ少ナイ數ヲ割出サレタノデアリマスカ、ソレヲ伺ッテ置キマス

○池田政府委員 收用審查會ノ方ハ名譽參事會員ガ矢張三人、高等文官三人ト云フコトニ相成、テ居リマス、ソレヲ本トシテ考ヘテ見マス、此收用審查會ニ於キマシテハ矢張關係各廳ノ高等官三人、ソレカラ其地方ノ參事會員ガ三人ト云フコトニナッテ居リマス、此間ニ於テハ權衡ヲ必ズシモ失シテ居ルモノトハ考ヘテ居リマセス、又府縣ノ高等官モ、是モ自分ノ所轄區域内ニ於ケル事件ニ關スル問題デアリマスカラ、之ヲモ一人ゾ、此組織ノ中ニ入レテ居リマス、更ニ加フルニ學識經驗アル者、即チ市民デアッテ、斯様ナ點ニ於キマシテモ經驗ノ卓越シタヤウナ人ヲ三人網羅スルコトニシテ居リマス、彼此レ是デ體ヲ得タコト、考ヘテ居リマス

○上島委員 都市ノ美觀、安全及便宜ヲ保ツ爲ニハ、都市ノ建物ノ敷地ノ最小限度ヲ定メルト云フコトハ甚ダ必要ナ事デアッテ、都市ノ各個ノ不動產ノ最小限度ヲ定メルト云フコトハ、是迄ノ總テノ成例ノ基礎トナッテ居ルヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス、今日ノ都市計畫ニ於テ、市内ニ一個ノ建物ヲ形成スルニ足ラザル狭小ナル敷地ノ散在ヲ許スト云フコトハ、計畫ノ大趣旨ト相容レザル所デアリマス、今此法案竝ニ都市計畫法、及之ニ關聯スル耕地整理法等ヲ通覽致シマス、此點ニ於テ私ハ確ナル根據ヲ見出スコトガ出來ナイヤウニ思フ、唯、耕地整理法ノ三十條ニ「換地ハ從前ノ土地ノ地目、面積、等位等ヲ標準トシテ之ヲ交付スヘシ」トアッテ、絕對ニ消滅サセルコトハ出來ナイ、然ラバ今日ノ從來ノ幕府以來ノ傳統的ノ犬牙錯雜シタ不完全ナル不動產ノ整理ダケハ、之ニ依ッテ出來マセウケレドモ、極ク小ナイ二十坪三十坪、四十坪ト云フガ如キ地所ノ整理ハ出來ナイ、是ハ併シ私共ハ唯、管見シタダケデアリマスガ、何カ法令上不都合ノナイヤウニ旨ク運用スル途ガアルノデセウカ、其點ダケヲ御同致シタイ

○池田政府委員 土地區劃整理ヲ以テ土地ノ區劃ヲ整理致シマス場合ニ於キマシテ、今回此法案ニ依ッテ出來マスコトハ、只今御示シナリマシタガ如キ事デアリマシテ、極メテ小ナル面積ノモノデモ、ソレヲ渡サナケレバナラヌト云フコトニ相成、テ居リマス、併シ沿道ノ關係デアリマスレバ、是ハ都市計畫法ニ依リマスレバ、御承知ノ如クニ地帶收用ノ途ニ依ルコトモ出來マス、又縱令土地區劃整理ニ依リマシテ、小サナ面積ノ土地ガ渡サレ

ニシマシテモ、現在ニ於テ見マスガ如キ、全ク利用ノ方法ガ不合理デアリマスヤウナ、即チ沿道ニ極ク細長イ、或ハ壁デモ造レバ造ルコトガ出來ルト云フヤウナモノガ殘ルコトハ、今回ノ區劃整理ヲ施行致シマスルト、是ハ其區劃整理ニ於キマシテ、適當ナル場所ニ適當ナル形ニ於テ換地ヲ與ヘマスカ故ニ、左様ナ事ガ無クナリマシテ、其狭小ナル土地ヲ擁シテ裏地ノ利用ヲ妨ゲルヤウナコトガナイヤウニ、換地ノ設計ノ方デ以テ十分ニ注意スルコトニ致シマス

○高橋委員長 是ヨリ本案、即チ帝都復興計畫法案ノ討論ニ移リタイト思ヒマス

○小橋委員 修正案ヲ提出致シマス、先ヅ修正ノ箇所ヲ述ベテ、其修正ノ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス「帝都復興計畫法」法案ノ名前ガアルノ「特別都市計畫法」ト改メ、其結果トシテ第一條中「復興計畫」トアルノ「特別都市計畫」ト改ムル、第二條中「復興計畫事業」トアルノ「特別都市計畫事業」ト改ムル、第三條中「行政廳又ハ公共團體カ施行スル」ト云フヲ削ル、及第二項中「前項」ト云フ三字ヲ削ル、ソレカラ第三條ノ次ニ左ノ如ク第四條ヲ加ヘマス、第四條「土地區劃整理ヲ施行スル爲メ土地區劃整理組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テ土地所有者同意ヲ爲スニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ借地法ニ云フ借地權者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス」「前項ノ借地權者ハ登記ナキモ耕地整理法第二條ノ二ノ規定ニ依リ前項ノ組合ノ組合員トナルコトヲ得」其結果トシテ第四條ヲ第五條トシ、同條中「前條第一項」ト云フ六文字ヲ「行政廳又ハ公共團體

リマスノデ、原案通り一割トシタヤウナ次第デア
リマス、ソレカラ元ノ第九條、修正ノ第十條ノ補償
審査會ハ内閣總理大臣ト云フノヲ主務大臣ト改メ
マシタノハ、復興事業豫算ノ修正ニ遭ヒテ、復興院
廢止、復興院費ヲ削除致シマシタ、其代リトシテ土
地區劃事業ニ主務トシテ關係ヲ持ッテ居ル所ノ内
務省ニ於テ、復興計畫事業ノ遂行ニ要スル機關ヲ
設置シタラ宜カラウト云フ意味デ修正サレマシタ
ノデ、其結果トシテ補償審査會ハ内閣總理大臣ノ
監督ニ屬スル必要ハナイ、都市計畫ノ主務デア
ル所ノ主務大臣ノ監督ノ下ニ於テ支配シタラ宜カラ
ウト云フ意味デ修正シタノデアリマス、修正ノ理
由ヲ簡單ニ申シマスレバ右ノ通りデアリマス

○作問委員 只今ノ修正ノ要項竝ニ理由ニ付キマ
シテ、小橋サニ御尋シタイコトガアリマス、既ニ
昨日ノ豫算ノ本會議ニ於キマシテ、大體ノ主務方
針ガ、土地ノ區劃整理ニ付テハ、十二間以上ノ道路
ニ面スル部分ハ國ニ於テ自ラ之ニ當ル、十二間以下六
間以上ノ道路ニ面スル部分ニ付テハ、地方自治體ヲシ
テ之ニ當ラシムルト云フコトノ御意見ニ承リマシ
タ、本案ノ修正モ只今ノ御意見ニ胚胎シテ當然生
ジタモノト心得マスガ、御承知ノ通り此東京市、殊
ニ燒跡ノ區域ニ付キマシテハ、道路ガ縱横ニ交錯
致シテ居ルノデアリマス、隨テ一面ハ十二間以上
ノ道路ニ面シテ居ル土地デアッテ、他ノ一面ニ又十
二間以下ノ道路ニ面シテ居ル部分ガ少クナイノデ
アリマス、此場合ニ於キマシテ、其部分ノ土地ノ區
劃整理ハ、主トシテ國又ハ自治團體ノ何レニ當ラ
シムルカト云フコトハ、其經營竝ニ經費ノ分擔ニ
付テ色々混雜ヲ生ジテ參ラウト思フノデアリマス、

而シテ其様ナ十二間道路ニ一面ハ面シテ居ル以上
ハ、他ノ十二間以下ノ道路ニ如何様ニ面シテ居
ウトモ、總テ國ガヤルノデアルト云フコトニナリ
マスルト云フト、豫算ノ上ニ於テモ多大ナル影響
ヲ及ボシテ來ルダラウト思ヒマスルガ、サウ云フ
ヤウナ土地ノ區劃整理ノ、國ト市トノ按排ノ關係
ハ如何相成ルノデアリマセウカ、此場合ニ承ッテ置
キタイト思フノデアリマス

○小橋委員 只今ノ御尋ハ、此法案其モフ、問題ニ
アラズシテ、此法ニ依ッテ實施ノ上ノコトデ、其實
施ニ際シテソレソレノ調査、審査ノ結果ニ待タナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、十二間幅即チ幹
線道路ニ沿ウタル關係地域ニ於テ、大體百万坪ハ
國ニ於テ、其土地ノ事情ニ依ッテ、或ハ幹線道路
ノ通ル結果トシテ、其地區ノ形ガ區劃整理ヲ要ス
ルト云フヤウナ場合ト思ハレルノデ、既ニ政府ニ
於テモ復興審議會ニ提案サレタ際ニ於テ、國ニ於
於東京市内ニ於テ約百万坪ノ土地ヲ特ニヤル
ト云フ案モ出デ居タガ、大體吾々モソレニ依ッテ
修正シタノデアリマス、其他ノ部分ニ付テハ其調
査ノ結果ト、又地主所有者等ノ土地區劃整理ヲ實
行スル狀況等ニ應ジテ、是ハ適當ニ其區劃按排又
費用負擔關係モ、必ズヤ組合ト公共團體、或ハ之ニ
對スル助成等ノ關係ハ政府ニ於テ、又ハ實施ノ任
ニ當ル公共團體ニ於テ、適當ナル調査ヲシテ決定
セラルコトデアラウト私ハ信ジタノデアリマス

○作問委員 只今述べラレタ御修正ニ依ッテ、土地
ノ區劃整理ニ付テ土地所有者ガ組合ヲ設立セント
スル場合ニ於テハ、斯様ナ方法ニ依ルト云フコト
ノ根柢ハ、第四條ニ於テ一應明カニナッテ居リマス

ケレドモ、此御修正ノ規定ニ依ッテ見マスルト、組
合ヲ設立セントスル場合ニ於テハト云フコトニナ
テ居ッテ組合ヲ設立スルト然ラザルト其關係地主
ノ自由意思ニ委シテアリマスルヤウデアリマスル
ガ、是ハ只今申上ゲマシタヤウナ十二間以上、以下
ノ道路ヲ標準トシテ、其以上ノ所ハ必ズ國自ラ之
ヲ爲シ、其以下ノ所ハ必ズ地主組合ヲ設立セシメ
テ、之ヲ行ハシメルト云フ御趣旨デアリマセウカ、
サウ云フ御趣旨デ無論アルデアリマセウカ、ソレ
ナラバ其御趣旨ガ、只今ノ修正ノ條項ノ何處ニ於
テ現ハレテ居ルコトニナルノデアリマセウカ、ソ
レヲ伺ッテ置キマス

○小橋委員 此修正ノ趣旨ハ今御尋ノヤウナ趣旨
デハナイノデアリマス、此特別法ハ國又ハ公共團體
ガ實行スル場合デ、原案ニ規定シテアッタノデアリ
マス、ソレデ原案通りニ致シマスレバ、地主及地主
組合ニ依ッテヤル土地區劃整理ハ、本法タル所ノ都
市計畫法ニ立戻ッテ、都市計畫法ニ依ッテ、自由意思
ヲ以テ必要ナル場所ハヤリ得ルノデアリマス、ソレ
デ元ノ特別法ニ於テモ、原案ノ特別法ニ於テハ
兩々ヤリ得ルコトニナッテ居ルノデアリマシタガ、
此修正ニ於テハ矢張り趣旨ヲ探ッテ、尙ホ地主及土
地所有者ノ組合ニ於テ爲ス場合ニ於テモ、此非常
ノ場合デアアルガ故ニ、都市計畫法ノ一般法ニ於
テハ、家屋建築所有者ノ其宅地ニ家屋ガ建ッテ居ル
場合ニハ、其所有者ノ同意ヲ得ナケレバ絕對ニ
ヤレナイト云フ規定ニナッテ居ルノデ、其例外規
定ヲ加ヘルコトニ致シタノデゴザイマス、即チ
行政官廳ガヤル場合ト同様ニ、耕地整理法第四十
三條ニ拘ラス建物アル宅地ヲ土地區劃整理施行地
區ニ編入スルコトヲ得」ト云フ便宜ノ場合ガ加ッ

ノデアリマス、ソレデ今御話ニ出タヤウニ、十二間以下ハ地主組合ノ自由意思ニ依ッテヤラセ、十二間以上ハ國ノミデヤラセルト云フ、實行上ノキチントシタ場合ヲ規定シタノデ、是ハ國公共團體及地主組合ニ於テ、適當ニヤリ得ル途方此法案ニ於テ開イタモノト私ハ信ジテ居ルノデアリマス

○關委員 小橋サンニ一寸御相談致シタイ、元トノ第九條ノ補償審査會ノ三ノ「關係府縣市參事會員」トアリマスネ、之ヲ少シ増シテ十人ト云フコトニ出來マスマイカ、ト云フノハ何レモ補償審査ノ場合ニ於テハ其狀況ニ應ジテ、此土地竝ニ借地者ノ狀況ニ應ジテ補償ノ金額ヲ定メナクテハナラス、此組織ニ依ッテ見マスト云フト、關係ノ各廳高等官、關係ノ府縣高等官ノ諸君ハ、露骨ニ言ウテ見ルト、燒跡ニ土地ヲ有ッテ居ルハ少ナイ、ドウモ是迄ノ土地收用法ノ適用、或ハ東京市ノ電單敷設ノ爲ニ土地ヲ買收ヲスルト云フヤウナ場合ニ、御役人方机ノ上デ地區ハ斯ナモノデアルト言、テ價格ヲ定メテ居リマス、實際トハ非常ナ運庭ガアルノデアアル、何時デモソレガ苦情デ實行ガ出來ナイ、或場合ニ於テハ二年モ、三年モ掛ルコトガ多イ、ソレデアリマスカラ實行ヲ早クスルニハ、ドウシテモ土地ノ狀態ヲ能ク承知ヲシテ居ル者ガ多數ヲ占メテ居ッテ、多少其意見ガ通ルヤウニシテ置カナイト、無理ナコトガ起リハシナイカト思フノデ、關係ノ府縣市參事會員、何レモ是ハ市民若クハ區民カラ直接選舉セラレタモノデアリマスカラ、地方ノ利害關係ヲ代表シ、同時ニ其地方ノ狀況ヲ能ク知ッテ居ル者デアリマスカラ、之ヲ數ヲ増スコトニ御同意ハ出來マスマイカ

○高橋委員長 速記ヲ中止シテ協議ヲシテハ如何デスカ

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○高橋委員長 ソレデハ暫ク速記ヲ中止シテ協議ニ移リマス

〔速記中止〕

○高橋委員長 ソレデハ是ヨリ速記ヲ付シテ討論ノ御進行ヲ願ヒマス

④作問委員 意見ヲ述ベマス、理由ハ總テ省略致シマシテ、結論ヲ先キニ申上ゲマス、只今小橋君ヨリ御提案ニナリマシタ修正案ニハ遺憾ナガラ反對ヲ致シマス、本案ノ名稱ハ、私共モ多少名實相副ハスト思ヒマスケレドモ、是ハ唯、形式上ノ話デアアル、ソレカラ地主、借地人ヲ加ヘタル組合ヲ設立シテ、其組合ニ依ッテ十二間以下ノ道路ニ關係アル土地ノ區劃整理ヲ爲サシムルト云フコトハ、燒跡ノ土地ノ價格ガ、俗ニ所謂金一升、上一升ト稱スベキ區域デアリマシテ、殊ニ地主ノ關係、借地權ノ關係、ソレニ絡マツテ尙ホ借家人ノ土地使用權ノ關係ト、色々複雑ヲ極メテ居リマス、東京市民モ相當ニ互讓ノ精神ニハ富ンデ居リマスケレドモ、何分ニモ深刻ニ痛切ニ、自己ノ利害生存ニ係ル問題デアリマスカラ、此場合ニ此區域ヲ地方ノ耕地、若クハソレニ準ゼラル、土地ト同様ノ方法ヲ以テ律セララルト云フコトハ、徒ニ紛擾ヲ繁クシ又復興ノ促進ヲ阻礙セララル、虞ガアルト思ヒマスカラ、其御趣旨ニ賛成ヲ致シ兼ネマス、補償ノ審査會ヲ總理大臣ノ——內閣ノ管轄ヨリ之ヲ他ノ主務大臣ノ管轄ニ移サル、ト云フコトハ、既ニ內閣ノ管下ニ屬シ

テ居リマスル復興院ノ廢止ヲ主張セラル、政友會ノ御意見トシテハ、其處ニ歸着スルノデアリマセウケレドモ、本員等ハ帝都ノ復興院ハ、此場合ニ此大東京市ノ復興施設ノ機關トシテハ必要ナルモノデアアル、維持ヲ主張致スノデアリマスカラ、旁々是モ見解ヲ異ニ致スノハ已ムヲ得マセス、以上ノ理由ヲ以テマシテ、本員等ハ唯、此法案通過後其監視ヲ嚴ニシテ、サウシテ暫ク其實績ヲ見テ、更ニ考慮スル所ガアルカモ知レマセヌケレドモ、只今ニ於キマシテハ、復興ノ急ヲ感ズルノ意味ニ於キマシテ原案ヲ維持致シマス、修正案ニハ反對ヲ表スル者デアリマス

○湯淺委員 私モ此修正案ニ對シテハ反對ノ意思ヲ表示致シマス、此土地區劃整理ノ如キモノヲ、修正案ノ如キ形式ニ依ッテ遂行スルト云フコトハ、此罹災地ノ跡ヲ整理スル上ニ於テ、敏速ニ、徹底シテ效果ヲ擧ゲヤウト云フコトハ不可能ノコト、存ジマス、此理由ニ依ッテ反對ヲ致シマス

○上島委員 私ハ修正案ニ賛成ヲ致シマス、此法案ハ帝都復興法案ト云フ立派ナ名前ヲ以テ生レテ來テ居リマスカラ、定メテ復興ノ大計畫ヲ包含ル完全無缺ノ成案デアラウト思ッテ居ッタノデアリマスガ案外披ケテ見レバ不完全極マルモノデアアル、今日ノ都市計畫ニ於キマシテハ、第一ノ目的トスル所ハ、都市ニ於ケル最少限度ノ不動產ノ單位ヲ定メナケレバナラヌ小サナ不動產ガ市内ニ散在スルコトハ、總テノ建築ノ阻礙トナルシ、都市ノ美觀ヲ損フコト大デアアル、是ガ爲ニ是迄ノ成例ニ依レバ、土地ノ區劃ヲ施行シテカラ後ノ處分ヲ非常ニ重大視シテ、其處分ニ關スル規定ガ都市計畫ノ重要ナルモノト

ナツテ居ル、本案ハ少シモ之ニ觸レテ居ラナイ、成程政府委員ノ説明ノ如ク、一坪ヤ二坪ノ如キ細長イ襷ノヤウナ地所ガ四角ニナルコトモ出來マセウ、圓イ地所ガ三角ニナルコトモ出來マセウケレドモ、矢張小サナ坪數ハ小サナ坪數デ、建築ヲ阻礙スルコトニナル、サウ云フモノ、處分モ包含シテ居ラナイ、又都市計畫ノ根本義トシテハ、一方デ無償提供ノ面積ヲ思切リ増加セシムルト同時ニ、若シ他ノ一方ニ於テソレガ爲ニ價格ノ増加ガ、面積ノ減少ヲ償フニ足ラザル所ノ地主ニ對シテハ、其足ラザル所ノ損害ヲ補償シテヤルト云フコトガ、第二ノ根本義ニナツテ居ル、此點モ之ニハ少シモ規定シテナイ、此點サヘ規定スレバ、無償ノ二割提供デモ、三割提供デモ、四割提供デモ少シモ差支ナイ、都市計畫ノ成例ニ依レバ、面積ノ減少シタモノ、價格ハ殘存スル價格ノ上ニ加ヘルト云フヤウニ、數學的公式ニナツテ居ル、其公式ニ漏レタ場合ニハ、不幸ナル地主ノ代價ハ飽迄モシテヤル、是ガ根本義デアラウト思フガ、此計畫法ニハ一向サウ云フコトガ見エナイ、唯、遠慮ニ遠慮ヲ重ネテ漸ク一割ヲ減少スル、斯ウ云フ事デドウシテ、帝都復興ト云フヤウナ大キナ名ガ使ハレルコトガ出來マセウカ、燒跡ノ整理案ナノデス、タカク燒跡ノ灰ノ始末ヲスル位ナ事デアアル、帝都復興ト云フヤウナ名ハ仰々シイデス、政友會諸君ガ御修正ニナツタ如ク、都市計畫法ノ改正デ満足スル、ソレダケナラバ是デ十分ナノデス、而モ此法案ノ特色トスル所ハ、帝都復興ノミデナクシテ、總テノ都市ノ計畫ニハ皆必要ナ事デス、諸君ガ修正ニナツタ條項ハ、獨リ東京、横濱ノ復興事業ノミナラズ、大阪ニモ、

神戸ニモ、其他ノ都市ニモ、何處ニモ必要ナ事デアリマス、都市計畫法ヲ此通りニ修正スレバ、總テノ都市ガ其恩惠ヲ蒙ルノデス、是故ニ第一ニ之ヲ都市計畫ノ特別法トセラレタト云フコトハ、政友會諸君ニ對シテ感謝スル、其他ニア、モシタイ、斯ウモシタイト云フ所ハ澤山アリマスケレドモ、サウ云フコトハ更ニ又他日諸君ニ於テ色ニ御考モアラウシ、政府ニ於テモ遠慮ヲ重ネテ此不完全ナ法案ヲ提出セラレタモノト思ヒマス、他日根本カラ立直ス所ノ大計畫ガアルカト思ヒマス、要スルニ原案ニ比シテ名實相適フト云フ點ニ於テ、サウシテ其修正ガ原案ニ比シテ更ニ一步ヲ進メタト云フ點ニ於テ、私ハ此原案ヲ是認スルノデアリマス

〔採決〕採決「ト呼フ者アリ」

○高橋委員長 モウ採決シテ宜シイデセウカ——原案ニ一番遠イモノハ、即チ修正案デアラウト思ヒマス、原案賛成ノ方ノ御議論モアリマシタガ、先ヅ修正案ノ方カラ決ヲ採リマス、小橋君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者 起立〕

○高橋委員長 大多數デアリマス、ソレデハ原案——原案賛成ノ方ハ探ルニ及バヌデアリマセヌカ——修正案ニ決シマシタ、尙ホ此委員會ニ付託サレテ居リマスノガモウニツアリマス、公債法案デアリマス、是ハ金高ガ違ッテ参リマスガ、之ヲ議題ニ供シマス、先ヅ震災善後公債法案ヲ議題ニ供シマス○小橋委員 只今議案ニナリマシタ震災善後公債法案ニ付テ修正致シマス、是ハ豫算削減ノ結果當然ノ修正デアリマスガ、復興事業費總額五億九千七百七十四万七千四百十九圓ノ内カラ一億二千九百三十万八千二百圓ヲ削減致シマシタル結果、復興事

業費ガ四億六千八百四十三万八千八百四十九圓トナリマス、其四億六千八百餘圓ノ公債ヲ起ス必要ニナツタノデアリマスガ故ニ、原案ニハ五億九千八百萬圓トアリマシタノヲ、四億六千八百五十萬圓ト修正致シマス、削減ノ結果四億六千八百四十三万八千八百四十九圓デアリマスケレドモ、四十三万八千圓ヲ繰上ケテ八百五十萬圓ト修正致シタ次第デアリマス

○作間委員 本員等ハ豫算ノ削減ニ反對ヲ唱ヘマシタ當然ノ結果トシテ、本案モ亦修正案ニ同意致シ兼ねマス、原案ニ賛成致シマス

〔採決〕採決「ト呼フ者アリ」

○高橋委員長 決ヲ採リマス、只今ノ小橋君ノ修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔賛成者 起立〕

○高橋委員長 多數デアリマス、小橋君ノ修正ニ決定致シマシタ、次ハ復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案

○高木委員 實ハ大藏大臣ニ御出席ヲ願ヒタイノデスガ、此場合政府委員ニ申上ゲテ置キタイ、過日ノ此委員會ニ大藏大臣ハ頻ニ氣兼ねサレテ、成ベク是ハ無理ニ公債ヲ押付ケナイヤウニシタイト云フ御話ガアッダ、帝都ノ復興ハ一面ニ於テハ東京ノ土地ノ利益復興デアアル、公債ノ募集ハ極メテ難義ノ時代デアリマシテ、諸君御承知ノ如ク、輸入超過ハ十二年ニ於テ五億ヲ突破シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、在外正貨モ殘リ少クナツテ居ル、今日以後日本銀行ノ兌換準備ニ手ガ付カナイトモ限ラヌ次第デアリマスカラ、此土地ノ買収ニ對スル公債

ハ、殊ニ大藏大臣ノ言ハレタ三千以下ヲ削リマシ
テ、其以上——万以上大地主ニ與ヘルモノニ付テ
ハ、努メテ公債ヲ以テ買收價格ニ宛テ、支拂フヤ
ウニシテ欲シト思フ、今日以後ニ於テ、恐ラク大
抵債券 モ通貨ニ換ヘヤウ、ト云フ一般ノ氣運ニナ
ルカモ知レナイ、此際大藏省ガ氣兼ねサレテ居リ
マシタナラバ、全ク公債ヲ受ケル者ガ無クナルヤ
ウナ状態ニナルカモ知レナイ、故ニ私ハ此法律案
ニ賛成シマスガ、此意味ヲ加ヘテ自分ハ賛成ノ趣
旨ニ添ヘテ置キタイト思フ、故ニ茲ニ申上ゲルノ
デアリマス

○高橋委員長 今ノハドウ云フノデスカ

○高木委員 成ヘク公債ヲ以テ支拂ッテ貰ヒタイ
ト云フノデス

○太田政府委員 只今高木サンノ御話ノ中ニアリ
マシタ、大藏大臣ハ成ベク無理ヲシナイト先達申
シマシタノハ、相手方ガ反對スレバ公債ヲ以テ渡
サヌモノデアルト云フヤウナ意味ニ御解釋ニナッ
テ居リハシナイカト考ヘラレマスガ、サウ云フ意
味デハナイノデアリマス、一定ノ標準ヲ示シタナ
ラバ、其標準ニ合ヒマス所ニ付テハ、相手方ノ同意
不同意ニ拘ラズ、公債ヲ以テ渡シタイト考ヘテ居
リマスガ、但シ其標準ヲ定メルニ付テハ無理ノ起
ラヌヤウニスル、尙ホ交付公債ノ實價ノ如キハ時
價ヲ斟酌シテヤルノデ、決シテ不利ヲ與ヘヌヤウ
ニスルト云フノデアリマシテ、其意味カラ言ヘバ
高木サンノ御意見ニ副ウテ居リマスガ、尙ホ御意
見ノ所ハ能ク大臣ニ御話致シテ置キマス
○高橋委員長 政府モ別ニ之ニ對シテ意見ハ特別
ニ變ッタクトモナイヤウデスカ……

○高木委員 其意味ナラ宜シウゴザイマス
○高橋委員長 本案ニ付テ決ヲ採リマス
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○高橋委員長 満場一致御異議ナイト思ヒマス、
原案ニ決シマス、是ニテ本會ハ散會致シマス、
午後一時一分散會

大正十二年十二月二十五日印刷

大正十二年十二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局